

着物地や帯地を再び活かす『お針子事業』



日本の各家庭には、現在多くの着物や帯が眠っているといわれますが、「着る機会がない」、「保管が大変」などの理由により、それらをやむなく廃棄する人が多くなっています。

日本リユースシステム株式会社では、そうした着物や帯を捨てることなく「アップサイクル生地」(不要な生地を価値ある生地にしたもの)として活かすため、国内外の福祉作業所などと連携して、「お針子事業」に取り組んでいます。

日本全国から集まった着物や帯を「Kimono そのまんまセンター」に集め、独自技術による除菌・消臭加工を施し、着物特有のにおいや面などを取り除きます。その後、モンゴルへ輸出し、着物をほだいで反物に戻し、さらにカンボジア・北欧・欧米などへ輸出し、アップサイクル生地として販売します。「Kimono そのまんまセンター」では、着物と帯に加工を施してから輸出するまでの数日間、保管する期間を利用して展示・販売をしています。

環境人づくり企業大賞2019にて「環境大臣賞(最優秀賞)」受賞
第3回エコプロアワード「優秀賞(主催者賞)文化伝承型サークルエコノミー賞」受賞

日本リユースシステム株式会社のお針子事業

一般家庭から着物・帯を集める

- 日本の各家庭で大切に保管されてきた着物や帯を独自の方法で集め、累計416,322着を再活用(※2017年1月～2023年6月)。

Kimonoそのまんまセンター

- 常時約4,000点展示・定期的に商品の入れ替え。
- 独自加工技術による除菌・消臭。
- 輸出されるまでの数日間、着物・帯を展示・販売。



モンゴル「オハリコ・ジンギ・ワールドセンター」

- 反物に加工(制作は現地の障がいのある方やシングルマザーが中心となって行う)。
- モンゴルの民族衣装(デール)制作に利用。



世界各地で販売

- カンボジア・北欧・欧米などで「アップサイクル生地」として販売。



行ってみよう! 着物地・帯地専門店「Kimonoそのまんまセンター」

- ご予約はメールもしくはお電話で完全予約制・送迎付き

メール side3@nrscorp.jp
電話 080-7283-5078

*メールでご連絡の場合は、右の二次元QRコードをスマホで読み込んでいただき、アドレスの入力を省略できます

アクセス

住所: 千葉県木更津市真木田4-19-16
<車でのお越しの方> 船山自動車道木更津北(より約9分(駐車場あり))
<バスでお越しの方> JR木更津駅東口より日東バス大田循環線「アピタ木更津店」由「原田大橋」下車徒歩1分

お得情報 ※2023年12月まで、「その1」と「その2」の併用不可

- その1 会計時に「キリストを見た」と言っていただければ 店内着物1点無料
- その2 10点以上お買い上げで3点無料 ※9,900円(税込)相当(11点目・12点目・13点目が無料)

Kimonoそのまんまセンター 4つのお約束

常時約4,000点の着物地・帯地が並んでいます。好きな生地を選び放題。

定期的な生地を入れ替え。いつでも新しい素材に出会えます。

すべて除菌・消臭加工済み。着物特有のにおいが残らないので、安心して使えます。

千葉県木更津市

おしゃれ大好き! 森本さんが行く!

「Kimonoそのまんまセンター」で すてきな着物地探し

第2回 冬のコート作り編

日本の各家庭で大切にされてきた着物や帯を集め、生地素材として展示・販売している「Kimono そのまんまセンター」。服飾学校の講師で、おしゃれ大好きな森本慧さんが、前回に続き、冬のコート作りのための着物地を探しに行ってきました。



森本 慧さん

ちほと。&Dの文化服装学院アパレルデザイン科講師。モンゴルで開催された民族衣装(デール)のファッションショーに着物地の作品を提供するなど、幅広く活躍中。



こんな生地も見つけました!



- ▲色どりの帯がずらりと並ぶセンター内。
- ▲作品のイメージが次々と湧き、着物地選びに没頭する森本さん。
- ▲左/ジュワールな印象の柄なので、パーカやブルオーバーにしても。右/凹凸のある織りで柔らかな素材の生地は、バルーンスカートに合いそうです。

着物地で作ってみました!

冬のショートコート

「今回作ったショートコートは、ユニークなデザイン。着物を半分のところで折って逆さにしたような形で、着物のえりが後ろ身ごろのすそに、着物のすそ側が前身ごろになっています。背縫いを半分ほどき、そでを外して縫い直し、えり下とえりを縫い合わせただけ。自由な発想で作れるのが着物メイクの魅力ですね」



選んだのはこれ!



外出着としてはもちろん、家の中でサドルと羽織っても。

「いつ訪れても新しい出会いがある! 着物を見た瞬間に作品のアイデアがあふれます」
前回(9月)登場したワンマルバッグ作りに残り、今回は冬のコート作りの生地探しに再び「Kimono そのまんまセンター」を訪れた森本さん。「Kimono そのまんまセンター」では、定期的に着物や帯の入れ替えをしているため、新たな気持ちで生地を選ぶことができました。「いつ訪れても新しい生地に出会えるのがうれしいですね。生地の光沢や素材感を見た瞬間に、こんなデザインでこんなカラーにしたら作ってきたな」と次々にアイデアが湧いてくるそうです。それが生地選びの楽しいところ。「ここには一般的な生地屋さんでは売っていないような生地に出会えるため、ハンドメイド作家やデザイナー、服飾系の学生さんたちが、作品作りの素材を探するためによく利用している」

「一度縫って縫われていた着物をリメイクするのは、一見、簡単に思いますが実はほとんど作業に経験がつかかかるといえます。だから、着物を洋服にリメイクする場合、極力、着物の形を壊さないデザインにするのがポイントです。それをあれこれ考えるのがポイント」

着物地・帯地は、一律3,000円(税別)です。生地は、独自技術による除菌・消臭加工済みなので、安心して購入できる商品にも使えるところもあるそう。心ゆくまでじっくり選び、オリジナルテイ

NHKテキスト

すてきにハンドメイド

11 2023

11月 製法・回家 同時に便利ポケットつき!

ニット! ニット! ニット!

アラン織のかわいい色バラクラバ
コースターのコースター&サコッシュ
モチーフの三機ショール
ハイカラーの三角ショール
ももふりアマルハルケ
ケール編みのケーブル
3Way 帽子入りまき

TV バラクラバ
コースター&サコッシュ
猫の刺しゅうブローチ
ハイカラーの三角ショール

10/26(水) 11:30

10/27(木) 9:30~9:54

10/28(金) 11:05~11:29

10/29(土) 1:05~1:29

NHK